

訪問診療について

訪問診療ってなに??

「訪問診療」とは、「からだのことで困っていても病院に通院できない人を対象に、医師、看護師などの医療関係者が、患者さまのお住まいや施設に定期的に訪問して行う、計画的・継続的な診療のことです。

「住み慣れた自分の家で療養したい」「できれば最期までの日々は、思い出深い我が家で、自分らしく過ごしたい」・・・訪問診療は、そのような患者さまの想い、ご家族の想いから始まります。

しかし、自宅での療養生活は、どのような準備が必要なのか、急に容体が変化したときにはどうすればよいのか不安も大きいことと思います。訪問診療は治療だけでなく、在宅生活におけるさまざまなリスク（転倒や寝たきり、栄養状態の低下など）を回避し、入院を未然に防ぐことも考えていきます。

また、定期的な訪問だけでなく、緊急時には24時間体制で「往診」の調整をいたします。それに加えて、ケアマネジャーやヘルパーなどの介護事業所の方々と密に連携、協力しながら療養生活全般を支えたいと考えています。

訪問診療で行うこと



□ 診療と治療



□ 薬の処方



□ 療養相談

定期的（月に2回以上）な診療・薬の処方（処方箋発行）を行います。

加齢に伴う様々な障害、脳卒中、悪性腫瘍、神経難病など、通院が困難な方に対して、診察のために定期的に訪問いたします。

在宅療養・看取り

病状がある程度安定しており、医療処置がほとんど必要なくても、通院ができないという理由で入院している場合があります。

例えば・・・

- 通院が困難な方
- 末期がん、難病、重度障害者の方
- 病院から退院した後のケアが必要な方
- お世話をするご家族がいない、日中孤独、お世話をされる方が高齢者など、その理由は様々です。

当院の訪問診療は、患者さまの生活環境とご希望、またご家族の方のご要望などをお伺いした診療をいたします。

<自宅でご家族に囲まれ、安心して残りの人生を過ごしたいという患者さまへ>

身体的・精神的苦痛・苦悩をできるだけ緩和し、穏やかに過ごせるような診療、治療を行います。患者さまが終末期を迎える場所として、ご自宅を希望することが多いということからも、ご自宅での安心感がとても重要です。

住み慣れた環境やご家族のもとで、安らかに過ごしたいという患者さまの希望をかなえるため、日頃の在宅療養での留意点等をご説明させていただき、ご家族と一緒に患者さまを支える診療体制をとっております。

24時間安心サポート

月曜日～金曜日の午後に、当院の常勤医師が訪問診療をさせていただきます。

また、急な病状の変化（緊急時）に何か異変が生じた場合は、当院までご連絡下さい。深夜時間帯、休日などにおいて、休日などにおいては往診対応させていただきます。状況に応じて、在宅療養支援病院である当院（二次救急病院）への入院も調整いたします。

利用対象範囲

当院から半径16Km(直線距離)以内に、ご自宅や利用中の施設のある方が対象となります。
範囲を超えての診療は、特殊な事情がある場合のみ保険対象となります。

16Kmを超える地域の方はご相談ください。

- 美浜町全域
- 南知多町
- 武豊町
- 常滑市
- 半田市



※南知多町、武豊町、常滑市、半田市は一部となります。

※マンションや老人ホーム、グループホーム、サービス付高齢者向け住宅なども訪問いたします。また同日に同じ施設で複数の方を見ることも可能です。

診療を受けるまでの流れ

相談・お申し込み



TEL: 0569-87-2111 渡辺病院(地域医療連携室) ※メール、FAX受付可。

訪問診療の説明、事前面談



診療方針、スケジュールを計画します。

医師による、訪問診療開始

定期的に医師が訪問し、診療や治療、相談等をいたします。



主な診療内容 (処方・検査・治療)

○: 診療可 △: 要相談

呼吸器

在宅酸素療法 (HOT)	○	在宅人工呼吸器	○
気管切開カニューレ	○	気管支切開済ケア (カニューレ記載なし)	○
気管内吸引 (気管カニューレ)	○	非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV)	○
経皮的動脈血酸素飽和度 (SPO2) 測定	○		

消化器

経鼻経管栄養	○	人工肛門 (ストーマ) 管理	○
浣腸、摘便	○	胃ろう、腸ろう交換	○
胆道ドレナーチューブ管理	○		

その他

点滴、注射	○	採血検査	○
在宅中心静脈栄養 (HPN)	○	自己血糖管理 (インスリン)	○
輸血	○	トリガーポイント	△
予防接種 (インフルエンザ、肺炎球菌他)	○	膀胱留置カテーテル	○
尿検査	○	排尿、排泄処置	○
がん末期、終末期ケア	○	ホルモン療法	○
麻薬処方	○	心臓ペースメーカー管理	○
褥瘡 (床ずれ)	○	創傷、外傷処置	○

※月に4回以上の訪問が可能な疾患 (頻回訪問加算)

- 末期の悪性腫瘍
- スモン
- 指定難病
- 後天性免疫不全症候群
- 脊髄損傷
- 真皮を超える褥瘡
- 在宅自己連続携行式腹膜灌流
- 在宅血液透析
- 在宅酸素療法
- 在宅中心静脈栄養法
- 在宅成分栄養経管栄養法
- 在宅自己導尿
- 在宅人工呼吸法
- 植込型脳・脊髄刺激装置による疼痛管理
- 肺高血圧症であってプロスタグランジン I2 製剤を投与
- 気管切開
- 気管カニューレ
- ドレナーチューブ又は留置カテーテル (胃瘻カテーテルは含まない)
- 人工肛門または人工膀胱

よくある質問

Q 1ヶ月にどれくらいの費用がかかりますか？

A 月に2回の訪問で約6,000円かかります（詳細別紙）また検査や薬代は含まれていません。往診の場合は別途料金となります。

医療保険1割負担の方は月2回の訪問で目安として**約6,000円/月**です

Q 「訪問診療」と「往診」の違いは？

A 訪問診療とは、定期的に医師が患者さまのご自宅に伺い、計画的に健康管理をいたします。（例えば1週と3週の木曜日に伺う診療）
また往診とは、具合が悪くなった時など緊急時に訪問して診療をいたします。

Q どのような方が利用できますか？

A 当院まで通院困難な状況など、医師が判断した方であれば利用することができます。

Q 現在通院している病院はどうなりますか？

A それぞれの主治医と連携して訪問診療いたします。当院で対応が困難な状況や専門性の高い病気などは、役割分担を図り、他病院の医師と連携しながら診療を行うこともあります。

Q 検査や入院が必要になったら？

A CT、MRI、内視鏡など設備を要する精密検査が必要な場合には、当院または他医療機関を紹介いたします。当院は在宅療養支援病院ですので、入院も対応しております。

Q 家族も診療してもらえますか？

A たとえば、ご高齢の夫婦の方や在宅介護で通院ができないご家族においても同時に診療することは可能です。